

1 専任教員の教育・研究業績

所属 英語観光学科	職名 教授	氏名 石原 敬子	大学院における研究指導担当 資格の有無 (無)
I 教育活動			
教育実践上の主な業績		年月日	概 要
1 教育内容・方法の工夫 (授業評価等を含む)			
英語絵本を活用した音読練習	2021(令和3)年～現在	心理こども学科の英語科目において、幼児から小学校児童を対象とした英語の絵本を数冊読んだ。英語のリズムを意識して音読するだけでなく、分かりやすい抑揚をつける基礎を理解するために、日本語の一単語を用いてさまざまな感情を表現するゲームを取り入れたり、絵本のシーン毎の登場人物の感情を分析・ディスカッションしたりした。最後には授業で扱っていない絵本を学生が選び、発表を行った。	
オンラインツールの活用	2020(令和2)年～現在	欠席者の有無に関わらず、毎週の授業進捗・課題・資料の提示をClassroom又はWeb Classで行うようにした。採点後の課題を毎週Webシステム上で返却することで、課題を忘れがちな学生もWebシステムを見る習慣をつけることができる。また必要に応じて、zoomを利用して面談指導を行った。	
授業後の復習クイズ課題と授業冒頭での振り返り	2020(令和2)年～現在	復習クイズをスマホでも取り組めるシステムにすることで、取り組みやすくした。また毎回同じ形式のクイズを課すこと及び翌週の授業冒頭で間違いの多かった箇所等のポイントを押さえることにより、学生自らが理解度の向上を確認できるようにした。	
名言の暗唱	2017(平成29)年～現在	コア・イングリッシュ科目の授業のウォームアップとして、指定された名言(教員又は学生が提示)のディクテーション、分析、音読、暗唱を行った。音読をする前に英語の文章を見てその音声的特徴を分析し、それをもとに音読することで、自発的に英語のリズムを意識するようになることを目的とする。	
2 作成した教科書、教材、参考書			
3 教育方法・教育実践に関する発表、講演等			
神戸自立学習研究会主催特別セミナー	2019(平成31)年3月31日	学習塾に通う中高生対象のセミナー(120分)。英語と日本語の発音の違い、英語の音声的特徴の基礎について実践的に練習をした後に、簡単な設問に対して英語で回答する練習をした。	

国際英語発音協会主催「英語発音指導者のための指導法セミナー」	2019(平成31)年1月20日	学習者が求めていること、指導者に必要なことや各参加者の課題についてのブレインストーミングから始め、2時間の間に、英語発音またその指導におけるポイントを解説しながら、最初に挙げられた課題や質問について解決していきけるようにした。(2時間・於 大阪)			
神戸自立学習研究会主催特別セミナー	2018(平成30)年8月6・9日	学習塾に通う中高生対象のセミナーで、90分授業を2回実施した。1日目は英語と日本語の発音の違い、2日目は英語の音声的特徴の基礎について、英検準2級相当の素材を用いて実践的に学べるようにした。			
神戸海星サマースクール 小学校英語実践講座・免許状更新講習「A. 英語運用力講座(小学校英語活動に役立つ発音トレーニング)」	2018(平成30)年8月22日	日本語として日常的に使用されるカタカナ語と実際の英単語との音を比較し、リズムの違いや発音の違いを観察したり、英語の発音を示すためのカタカナの使用について考察した。またナーサリー・ライムを用いてリズムの違いを確認した上で、教室で使用する英文をリズムを付けて言う練習をしたり、フォニックス理論を用いた活動例を紹介したりした。			
4 その他教育活動上特記すべき事項					
合唱曲(「しあわせ運べるように」)の英語歌詞翻訳と発表	2019(令和元)年10月～2020(令和2)年1月	3年次演習クラスで「しあわせ運べるように」(臼井真 作詞・作曲)の歌詞の英語版翻訳に取り組んだ。日本語と英語との言語的・文化的な違いに気づき、理解する機会となった。英語版は、2020年1月兵庫県合唱連盟主催の災害復興支援コンサートにおいて海外の合唱団により初演され、その様子は朝日新聞(2020年1月20日朝刊)にも取り上げられた。また作曲者の臼井氏には、自身が作曲した時の思いが表現されている初めての英語訳だと評価された。			
II 研究活動					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月(西暦でも可)	発行所、発表雑誌(及び巻・号数)等の名称	編者・著者名(共著の場合のみ記入)	該当頁数
著書					
論文					
III 学会等および社会における主な活動					
国際英語発音協会主催「英語発音指導法セミナー」(2019(平成31)年1月20日)	(I-3に記載)				